

進学 *Now!*

石橋高校
進路指導部
保護者版 3 月号

2024.3

0. はじめに

昨年は野球部の甲子園出場が大きな話題となりましたが、冷静に周囲を見渡すと、その他にも入試制度の変化など注目すべきことがいくつもあったことにお気付きになると思います。

お子様の進級に合わせて、進学に関する正しい情報を収集し、ご家族で話す時間を持ってくださいますようお願い申し上げます。

1. 卒業生の受験結果について

この3月に卒業した3年生の進路実績の概要をご報告いたします。

まず、共通テスト結果につきましては前回の記事のとおりですが、その結果をもとに出願先を検討し、戦略を立てて2次試験に臨みました。

少子化やコロナ禍等の影響で年々受験倍率が変動しており、難しい選択を迫られたことと思います。結果的には現在のところ国公立大学の合格者が現役生のみで129名を数えました。このうち約27%の者が中・後期で合格したことが今年の特徴と言えます（昨年は中・後期の合格者は全体の約15%でした）。この数字は「**自分が望む進学先を最後まで諦めずに受験し、合格し、目標の大学に進学できた**」ことを示しています。単に国公立大学を目指すのではなく、自分のやりたいこと、学びたいことを見つけ、その目標に向かって全力で努力し、勝利を勝ち取る石高スタイルが実現できた素晴らしい結果であると思います。

さらに、3学年の最後の大会まで部活動加入率90%以上を維持し、甲子園大会にも出場するような活躍を見せている、そんな石橋高校の輝かしい一面が、今年も見られました。

お子様の頑張りを温かく見守り支えてきた保護者の皆様のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

2. 2年生この時期

いよいよ4月から新3年生となります。桜の花の開花が例年より早めなので、4月の始業式の頃には桜は咲き誇っているのでしょうか。春の穏やかな日差しのもとで、新たな学年の目標をしっかりと立て、最後の学年を楽しんでもらいたいと思います。

受験の準備は、大変な部分も多いと思いますが、その大変さも「一生のうちに何度もないこと」と捉え、精一杯駆け抜けて欲しいと思います。

まずは、4月の校内模試、5月末のマーク模試が目標です。3年生は年間に何度も模擬テストが計画されており、どんな季節も試験の準備ばかりです。

しかし、その忙しさと頭が一杯になっていると、あっという間に共通テストがやってきてしまいます。そのため、次のことに留意しながら準備して欲しいと思います。

①一つ一つの模擬テストに目標を定め、計画的に準備を進めること。

毎回、同じ準備をするのではなく、計画的に対策を考えることが必要です。

②判定結果に一喜一憂することなく、自己の目標をブレずに追いかけること。

判定がDやEになっても大騒ぎしてはいけません。あくまでも現時点での結果であり、それに振り回されて、目標が右往左往してはいけません。

③部活動の最後の大会後にどんな取り組みをするのか、部活動引退が遅い部では、いつ頃からどんなことを始めれば良いのか。

部活動が盛んな本校では、部活動後の切り替えが本当に大切です。引退の時期は部活動ごとに異なるため、それぞれの部ごとに対策することが必要になります。

3. 1年生この時期

いよいよ2年生ですね。高校生活にも慣れ、毎日の予習復習も含めた生活時間の使い方も上手になったことでしょう。その生活習慣に2年生の予定を組み込みましょう。2年生になったら

①志望大学の情報を収集しておきましょう（これは1年生の課題です）。

②学部学科の情報を収集しましょう。

学びたい分野や専門は何か。同じ学部や学科でも、大学ごとに内容が異なります。全国の大学短大の数は1000を超えますので、全ての大学の情報を把握することは困難です。学校の先生方にも全ての違いを説明することはかなり難しいと思います。したがって、各自のやりたいこと、深めていきたいことを定めて、その分野について関係する大学を徹底的に調べ、情報収集をしておきましょう。

③模擬テストの目標を考えていきましょう。

2年生の夏までは、模擬テストの科目数は英数国の3教科ですが、秋の模擬テストからは理科・地歴公民・情報を加えた6教科型になっていきます。しかも文系は地歴公民から2科目、理系は理科2科目を受験しますので、6教科7科目型の受験になります。夏以降は学習時間も倍以上必要になります。1年間の計画をしっかりと立てましょう。「備えあれば憂いなし」！

進路指導部